

一般用

応急給水口操作マニュアル

2021

小田原市上下水道局

1. 応急給水口の使用

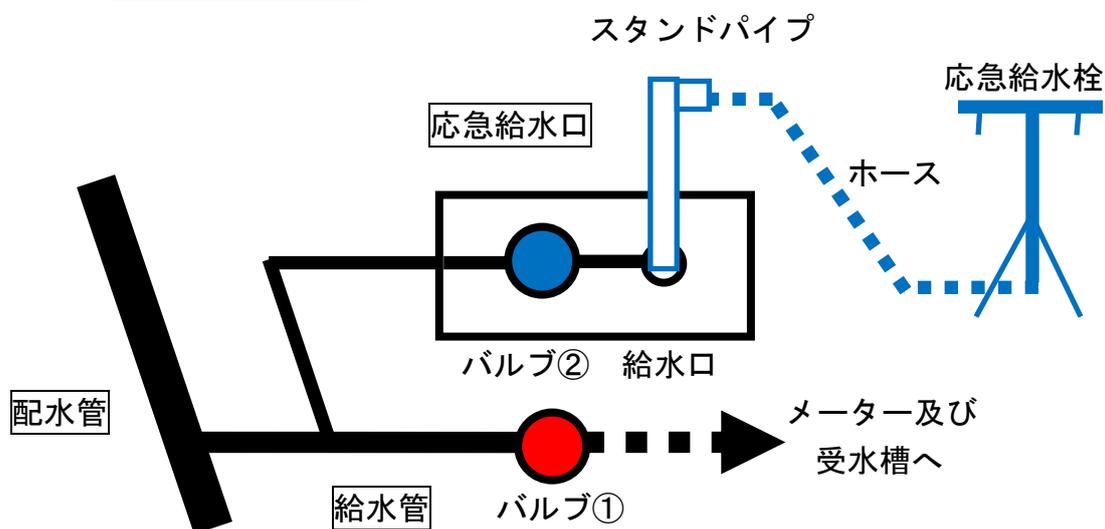
大規模地震が発生すると、水道使用が出来なくなり、その後、配水が再開され応急給水口が使用できるまでの順序については以下のとおりです。

- ①配水池に設置されている緊急遮断弁が作動し、市内全域が断水となります。
- ②上下水道職員により水道施設や管路の点検を行います。
- ③水道施設や管路に被害が無ければ、配水池から広域避難所である小中学校までを優先的に配水再開します。
- ④広域避難所内の水道管が破損した場合でも給水可能な施設として設置された応急給水口に応急給水栓などを接続することで給水ができます。
- ⑤広域避難所に配水が再開されても、市内のほとんどのお宅は、蛇口から水が出ません。

2. 構造

応急給水口の操作を行うには、バルブ①を閉め、応急給水口にスタンドパイプ、ホース、応急給水栓を接続し、バルブ②を開くだけで誰でも操作できるよう簡単な構造になっています。

応急給水口標準図



設置全景



3. 操作方法

小田原市保険センターの応急給水口を見本に操作方法を説明します。

(1) 使用機材

バルブ①蓋開けキー



バルブ①②操作キー



スタンドパイプ



給水ホース



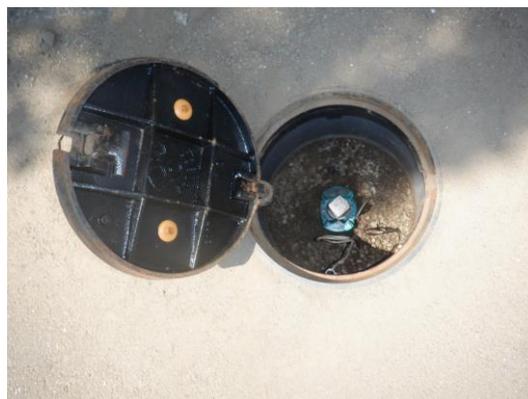
応急給水栓（4口）（アタッチメント付き）



(2) 操作方法

① 第一バルブの閉止 (訓練の時は行わないこと)

- ・ 第一バルブの蓋の鍵穴に蓋開けキーを差して、蓋をこじ開ける。



- ・ バルブキーをバルブに差し、固くなるまで左回し(反時計回り)する。



- ・ バルブキーを抜き、蓋を閉める。



② 応急給水口から応急給水栓までの接続

- ・ 応急給水口の蓋を開け、給水口のキャップを外す。



- ・ 給水口にスタンドパイプを差し込み、抜けないか確認する。



- ・ バルブを少し右回り（時計回り）させ、にぎりや異物がなくなるまで水を出す。
- ・ 5分程度水を出し、にぎりや異物がなくなったら、バルブを左回りし閉める。



- ・ スタンドパイプにホースを接続し、抜けないか確認する。
- ・ ホースはなるべく直線に配置し、ねじらない様にする。



- ・ ホースに応急給水栓を接続し、抜けないか確認する。



- ・ アタッチメントが確実に接続されているか確認する。



③ 応急給水栓への通水

- ・ 応急給水栓の蛇口を全開する。



- ・ バルブを右回りで徐々に開け、蛇口から水が出るのを確認する。
- ・ バルブの回転数は、水が出始めてから1回転までとする。



- ・ 途中の水漏れ及び蛇口から出ている水のにごりや異物を確認する。
- ・ 水量が安定し、にごりや異物がなくなったら蛇口を閉め、通水完了。



③ 片付け

- ・ バルブを固くなるまで左回しする。
- ・ 蛇口を全開し、圧力を抜く。



- ・ 応急給水栓、ホースは口金をスライドして外し、スタンドパイプはグリップを握り外す。
- ・ 応急給水口から水が出ていれば、再度バルブを増し締めする。



- ・ 給水口にキャップをして応急給水口の蓋を閉める。

